プラチナ未来人財育成塾

参加報告

成長できた素敵な五日間

旭志中学校３年　松尾愛子（まつおあいこ）さん

八月三日から七日までの五日間、私は「プラチナ未来人財育成塾」に参加してきました。

私が、この活動に参加した動機は夢を広げたいと考えたからです。

私は、将来のことや、自分がどんな人になりたいと思っているのか、はっきりとしていませんでした。それは、考えなくてもいいやという気持ちではなく、考え方が分からずに悩んでいたのです。

だから、講義を聞いて、たくさんの人と交流することで、少しでも自分について知ることができれば嬉（うれ）しいと思い、この活動に参加しました。

五日間の活動は、早速講義を聞くところから始まり、昼食をはさみ、その後続けて講義を聞いた後、宿泊所に戻りグループワーク、面談という日程で行われました。

講義はどれも素晴らしいものばかりでした。難しい内容のものもあったけれど、現在の日本についてや、これまでの人生経験で得たもの、リーダーに大切なことはどんなことか…その全てがどれも大切なお話で、聞いている私は引き込まれ、とても楽しい時間が過ごせました。

その講義の中で、私が印象に残った言葉を二つ紹介します。

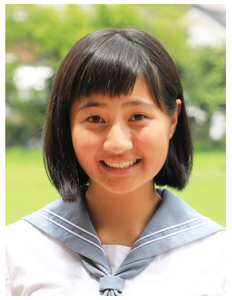
まず、印象に残ったのは、『行かなかった道』という詩です。『森の中で道が二つに分かれていた。そしてわたしは・・・わたしは人跡のない道を選んだ、それがすべてを違ったものにしたんだ』という詩です。皆さんだったら、どちらの道を選ぶでしょうか。私は、人の通った跡がある、安心できる道を選ぶと思います。けれど、この詩の意味を知ったとき、その考えも変わりました。この詩が伝えてくれたのは、『みんなと同じならば安全かもしれない。発見をしたいのなら、たとえ危険でもこれまで誰も行ったことのない道を進む。これが成功への近道なのだ。』これは当たり前のことだけれど、今まで気付けなかった私にとって勇気をくれる言葉となりました。

次に印象に残ったのは、『自分がそこまでだと思えばそこまでで終わり。まだ！と思えば可能性はある。楽しめるかどうかは自分次第。明日の朝どう過ごすかは、毎朝決めることができる。』という言葉です。可能性は広がっていて、それを楽しむのかどうかは自分で決められる。ということがわかり、夢は大きく持っていいのだと、これからの人生を楽しくさせてくれる素敵な言葉でした。

こういった言葉を持ち帰り、グループワークの時間に、いろんなことを伝えあいました。その中で、「自分はどんな人になりたい？」というテーマのワークショップがありました。そこで、自分について振り返ることができました。

話し合いをするうちに、だんだん自分の意見を言うことが楽しくなってきました。もっと、みんなに伝えたいと思うけれど、まだ意見を言うことを怖がってしまう自分がいました。そう思っときに、怖がらないようにするためにはどうしたらいいのだろうと思い、グループの人や担当の方に話をしました。その中で、私は「堂々とした人」になりたいんだ。ということに気が付きました。では、堂々とした人になるためにはどうすればいいのかなどと深く考えていくうちに自分はこういう人になりたいんだという姿を見つけることができました。このことが本当にうれしかったです。素敵な人たちと出会って、活動を共にして、お互いを深く知る。こんなに素敵で最高の時間を過ごせたのは、私にとって一生の宝物になったと思っています。五日間では足りないくらいの素敵な思い出と経験をすることができたのも、この活動に参加できたからです。私はこれからの日々をたくさんの思い出と経験を持って、進んでいきたいと思いました。大きく成長できた、素敵な五日間でした。

社会を明るくする運動



中学生の部優秀作文

あいさつで良い環境づくり

菊池南中学校３年　山下ひびきさん

私は、毎日近所の人にあいさつをしています。あいさつをすると、笑顔でかえしてくれるので私もうれしい気持ちになります。だから、毎日あいさつを自分からしています。

私は、みんなが誰にでもあいさつをしていくと、犯罪や非行のない明るい社会がつくれると思います。

犯罪や非行は、心が暗くなっている時に起きるのではないでしょうか。犯罪や非行をする人もあいさつをすれば、明るい気持ちが少しずつ出てくると思います。

それから、あいさつを笑顔ですると、相手の人も気持ちよくなり、相手の人も笑顔であいさつをかえしてくれます。あいさつをした方もされた方も、おたがいに気持ち良くなるので、笑顔でのあいさつは、とても必要だと思います。

朝から学校に行くまでにも、いろんな人に会います。ランニングをしている人や、犬の散歩をしている人、ゴミを拾って道をきれいにしている人とか、仕事に行っている人、など、とてもたくさんの人に会います。私は、会った人全員にあいさつをする事をこころがけています。中には、スマホを見て、イヤホンをしている人などもいます。その人にはあいさつがとてもしづらいので、あいさつができません。その時、私は、いつも、「あ～あ。」と思います。いつでもあいさつができるような社会ができたらいいな、と思います。

近所のおじちゃんやおばちゃんなど、会った時にあいさつをすると、「行ってらっしゃい。」とか、「気を付けてね。」など、温かい言葉をかけてくれる人がたくさんいて、私は、とてもうれしくなり、満面の笑顔になって返事をします。

私は毎日あいさつをしている人に、熊本市内で偶然会い、あいさつをしました。一緒にいた母に、

「だれ？」

と聞かれたので私は、

「いつも会うおばちゃんだよ。」

と教えてあげました。するとそのおばちゃんが、母に、

「毎日あいさつをしてくれて気持ちがいい。」

と言って、ほめてくれました。私はその時、とってもうれしかったです。

全く知らない人にでも、あいさつをしていけば、知り合いになれると思います。だから、私は、笑顔でのあいさつは大事だ、と思っています。

話をするのが苦手な人でも、あいさつならできると思います。あいさつはコミュニケーションの一つだと思うので、これからも続けていきたいです。

あいさつで知り合いになって、犯罪や非行ができないような環境をつくっていって、みんなが安心して過ごせる明るい社会になればいいな、と思います。